

# LGBT + Q 入門

セクシャルマイノリティについて

**講師：及川 卓**

2020年11月1日(日)

13:00～16:30

LGBT+Qの方が、どのように生き、悩み、希望、勇気をもって生きているか、そのありのままの姿をお話します。

【日程】2020年11月1日(日)講師登壇は16:30まで、  
16:30:フォローアップ～18:00

【対象】臨床心理士・公認心理師・精神保健福祉士・医師・  
対人援助職、LGBT当事者の方も歓迎します

【定員】100名以内 【締め切り】10/24(土)

【受講料】CESC 会員・精神分析的な精神療法フォーラムメンバー:4,000円

一般:5,000円

【申込】<https://www.npo-cesc.or.jp> の申込フォームまたは

◆及川卓プロフィール: 及川心理療法研究所長。1982年駒澤大学大学院博士課程心理学専攻修了。1976年～慶応義塾大学医学部精神科助教授 小此木啓吾氏より精神分析的教育訓練を受ける。群馬大学、金沢大学大学院、横浜国立大学講師(非常勤)を歴任。1980-1982 Archives of Sexual Behavior 国際編集委員。臨床心理士、日本性科学会・認定セクセラピスト、日本青年精神療法学会理事。日本精神神経学会「性同一性障害委員会」委員。著書 Homosexualities, Int.Univ.Press.『ジェンダーとセクス 精神療法とカウンセリングの現場から』(弘文社)

## オンラインセミナー

本セミナーは、ウェブビデオ会議ツール“Zoom”を用いて行います。皆様は自宅から受講いただけます。

必要なものは、パソコンもしくは、スマートフォン、タブレットなどです。スマホ、タブレットの場合、あらかじめアプリをインストールしておく必要があります。ダウンロードは以下。

<https://zoom.us/download>

Zoomによるウェビナー方式の本セミナー受講につきましては、自宅などプライバシーが十分に確保できる場所でウェブ接続をしていただきますようお願いいたします。

Zoom 接続のトラブル解決のために補助スタッフが参加します。

### ◆臨床心理士資格更新ポイント申請予定

ポイントご希望の方は臨床心理士番号を、申込フォームのコメント欄に必ず記載してください。ポイント希望の方には受講証明書を発行します。



### 【申込・問い合わせ先】

URL <https://www.npo-cesc.or.jp> の申し込みフォームから、または QR コードから。

申込受理後、振込先など記したメールをお送りします。

## NPO CESC(セスク)

特定非営利活動法人カウンセリング教育サポートセンター  
〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-34 風間ビル3階

Tel:03-3233-3363 Fax:03-3233-3364

URL <https://www.npo-cesc.or.jp>

# NPO CESC

# ONLINE SEMINAR

## 受講申込受付中

URL <https://www.npo-cesc.or.jp>



本セミナーは『精神分析的な精神療法フォーラム』の後援を受けました。

特定非営利活動法人  
カウンセリング教育サポートセンター

Webinar 方式による

# コフォートの自己心理学と 米国精神分析学の新潮流

2020年9月27日(日)13:00～16:30

講師:富樫公一

ハインツ・コフォートの精神分析的自己心理学は、その出発点を、自己愛性パーソナリティ障害の治療に置くものの、その後、自己愛の病理と発達との研究を通し、新しい臨床的な次元を切り拓いた。コフォートの精神療法的な関係における「受容性」「共感性」の重視は、ロジャースやジェンドリンとも共通するものが有る。その意味で、フロイトの古典的精神分析学の枠組みを乗り越えて、より現代的な臨床的なテーマである「自己愛」に焦点を置いた新たな治療論を展開することになった。精神分析的自己心理学は、“共感と肯定的自己愛”の心理学とも言える。それまで病理的と見なされてきた自己愛に対して、健康な自己愛の存在を強調し、それこそが成熟した対象愛の基礎となり、充実した社会活動や対人関係、また生きていること意味づけ、さらにその人自身の“創造的な人生”を構築する上での大前提と位置付けている。まずコフォートの自己心理学を紐解いていき、その上で、治療者とクライアントとの生き生きとした相互主体性(間主観性)へと考察を進めて行きたい。こうした臨床的枠組みにおいては、治療者の治療態度がクライアントの体験を豊かにしたり、貧困にしたりすると考えている。自己愛理論とその後の米国精神分析学の新潮流をもとに学びましょう。

【日程】2020年9月27日(日)13:00～18:00(講師登壇は16:30まで)、フォローアップ～18:00

【対象】臨床心理士・公認心理師・精神保健福祉士・医療関係者・教育関係者・対人援助職・コフォート理論、  
ポスト精神分析・現代哲学、等に興味ある方

【定員】100名以内 【締め切り】2020年9月19日(土)

【受講料】CESC会員・精神分析的治療法フォーラムメンバー: 5,000円 一般: 7,000円(消費税込)

【申込・問い合わせ先】URL <https://www.npo-cesc.or.jp> の申し込みフォームから、またはQRコードから

※申込み受理後、振込先などを記したメールをお送りします。

## ◆富樫公一プロフィール



甲南大学文学部教授、日本精神分析的自己心理学協会・代表理事。栄橋心理相談室精神分析家。

2001～2006年NPAP精神分析研究所、TRISP自己心理学研究所(New York)に留学。2003～2006年南カリフォルニア大学東アジア研究所客員研究員。2006～2012年広島国際大学大学院准教授。

ニューヨーク州精神分析家ライセンス、公認心理師・臨床心理士、博士(文学)、NAAP精神分析学会認定精神分析家、TRISP自己心理学研究所ファカルティ・訓練分析家・スーパーヴァイザー、国際自己心理学会国際評議員、Psychoanalysis, Self and Context誌国際編集委員。

### 主要著書

- ・『精神分析が生まれるところ-間主観性理論が導く出会いの原点-』(岩崎学術出版社)
- ・『トラウマと倫理: 精神分析と哲学の対話』(岩崎学術出版社)
- ・『Kohut's Twinship across Cultures: The Psychology of Being Human』(Routledge)
- ・『The Psychoanalytic Zero: A Decolonizing Study of Therapeutic Dialogues』(Routledge)